



学校だより

東京都立府中けやきの森学園
〒183-0003 府中市朝日町 3-14-1
TEL 042-367-2511 FAX 042-369-8476
<https://www.fuchu-keyaki-sh.metro.tokyo.jp>
令和7年6月30日(月)発行 第4号

児童・生徒の安全を守る取組の推進に向けて

副校長 福永 顕

学校公開、授業参観日には、多くの方や保護者の皆様に御来校いただき、ありがとうございました。アンケートや連絡帳を通していただいた御意見は、校内で共有し、授業改善等に生かしてまいります。

さて、5月8日(木)に立川市内の小中学校で、教室に乱入した男性2名によって、教職員5名が怪我をするという事件が発生しました。児童らに怪我はありませんでしたが、学校の安全を脅かす重大な事態として捉え、本校でも外部からの来校者に対してより厳重なセキュリティ対策を講じてまいります。詳細は、6月16日(月)にClassiにて送付しましたお便りを御確認ください。

6月中旬から水泳指導が始まりました。プールからは、子どもたちの歓声が聞こえてきます。水泳指導の開始前には、全教職員で、児童・生徒の保健情報を確認するとともに、緊急時に備えた対応訓練を実施しています。水泳指導前後の健康観察の実施など、保護者の皆様と連携して安全な水泳指導に取り組んでまいります。

今年の夏も猛暑が続くことが予想されます。特に校外での学習にあたっては、現地の暑さ指数(WBGT)をもとに、場合によっては、校内での活動に切り替えるなど、「熱中症を起こさない」対策をとることもあります。児童・生徒の安全を守りながら、教育活動を進めてまいります。

令和7年度学校運営連絡協議会について

肢体不自由教育部門 主幹教諭 井上 学

学校運営連絡協議会は、「本校の教育活動が地域住民に理解され、かつ、本校の学校運営に保護者及び地域社会の方々の意向が反映され、本校が地域に根ざしてより発展していくための学校支援組織とすること」を

《学校運営連絡協議会委員》

渡部 匡隆様(横浜国立大学教授)
宮崎 家光様(株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ)
原田 志織様(多摩府中保健所 歯科保健担当課長)
清水 俊夫様(都立府中療育センター院長)
増渕 英夫様(府中公共職業安定所所長)
成清 敏治様(府中市立府中第二中学校校長)
高橋 美佳様(地域生活支援センターあけぼの所長)
長尾 英治様(調布わかばの会事務局長)
高木 かほり様(調布市福祉保健部
子ども発達センター センター長)
橋本 暢子様(本校PTA統括会長)

※紙面の都合で役職等の一部を省略させていただいています

目的とし、学校運営に関する意見交換、教育活動の観察ならびに学校評価等をとおして協議を行い、校長に対して学校の運営、教育活動及び家庭や地域社会との連携について助言する役割をもっています。

今年度の学校運営連絡協議会は、左記の皆様に依頼し担っていただいています。6月6日(金)に第1回協議会を開催し、肢体不自由教育部門小学部の府中警察署の方による交通安全教室と知的障害教育部門中学部と高等部の作業学習の様子を見学していただきました。警察署との連携の様子や作業学習での工夫などを見ていただくとともに、児童・生徒が真剣に学習に取り組んでいる姿を見ていただくことができました。

肢体不自由教育部門小学部高学年の教育活動

肢体不自由教育部門小学部副主任 主任教諭 齊藤 健夫

肢体不自由教育部門小学部高学年の知的障害を併せ有する教育課程（Bグループ）、自立活動を主とする教育課程（Cグループ）の「生活単元学習」で、本校で力を入れている「堆肥」を活用した活動に取り組みました。

Bグループでは、本校の農場の畑で栽培をしています。素手で畑の土に触れたり、農具を使って土を掘ったりして、さつまいもの苗を植えました。

Cグループでは堆肥作りをしました。C1グループでは堆肥を用いて「虹色菜」の種を植えました。C2グループでは、野菜くず、米ぬか、もみ殻を手で触ったり、混ぜたりしながら堆肥自体の作成に取り組みました。



農作業（Bグループ）



虹色菜植え（C1グループ）



堆肥作り（C2グループ）

知的障害教育部門小学部の教育活動

知的障害教育部門小学部主任 主任教諭 鬼岩 真也

4月、5月の体育の学習で取り組んできた内容を低学年と高学年とで発表し合う表現運動発表会を6月5日（木）に実施しました。全員でのラジオ体操から始まり、高学年はリズム運動、「Hello Hello」のダンスを、低学年は、パラバルーンを使った「世界中の子どもたちが」のダンスを発表しました。

いつもとは違う雰囲気に対し緊張した表情を見せる児童もいましたが、時間がたつにつれて表情は明るくなりました。「頑張ったね。」「かっこいい。」と声援や力強い拍手を送り合う姿は大変微笑ましかったです。最後は全員で「エビカニクス」のダンスを踊り、大盛り上がりでした。



肢体不自由教育部門中学部の教育活動

肢体不自由教育部門中学部主任 主任教諭 佐藤 英樹

肢体不自由教育部門中学部では、「総合的な学習の時間」でSDGSについて学習しています。持続可能な社会の実現に向けて、自分たちができることを考えながら、リサイクルをテーマにして活動しています。今回は、中学部2年生が牛乳パックのリサイクルをとおして学習した内容を紹介したいと思います。

牛乳パックの表面に張り付けてあるビニールをはがし、細かくちぎり、ミキサーにかけて細かいパルプにしました。スイッチでミキサーを動かす活動が楽しくて、興味津々な表情で参加できました。ミキサーをどれくらい回したら丁度よいパルプの状態になるか、考えながら活動しました。



知的障害教育部門中学部の教育活動

知的障害教育部門中学部主任 主任教諭 武藤 笑実

知的障害教育部門中学部の作業学習は、「紙工班」と「ハンドワーク班」の2つに分かれ活動をしています。紙工班では、牛乳パックのちぎり、ミキサー、紙漉き等の作業をとおして、はがきやマグネットを作成しています。ハンドワーク班では、紙のカットやスタンプ、ラベル貼り等を通して、紙袋やカレンダー、メモ帳の作成を行っています。個々に合った教材を使い、主体的に活動に取り組むことができることを大切にしています。4月に1年生を迎え、3か月がたちました。生徒が作業工程やそれぞれの役割を理解して製品完成に向けて協力して作業を行っています。挨拶や報告、相談等の働く上で大切な態度は、2、3年生の先輩が良き手本となり教えてくれています。

完成した製品は、他学部への依頼を受けて届けに行ったり、自身の家庭で活用したりしています。自分たちが作った物を活用される喜びを感じ、活動の意欲となっています。



第 26 回東京都障害者スポーツ大会報告

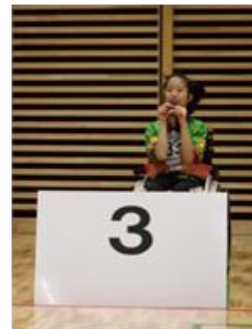
部活動担当 主任教諭 中村 嘉人

5月24日（土）はボッチャ競技、5月31日（土）には陸上競技の「第26回東京都障害者スポーツ大会」が駒沢オリンピック公園総合運動場にて開催されました。

ボッチャ競技には5名の生徒が参加し、これまでのチーム戦とは異なり、トーナメント形式の個人戦であるため、試合前には特有の緊張感と期待感が漂っていました。その結果、立位部門の生徒が見事に3位に入賞しました。座位部門に出場した生徒たちも、緊張の中で自らの力を最大限に発揮し、勝利の喜びや敗北の悔しさを体験する貴重な時間を過ごしました。

陸上競技には6名の生徒が参加し、50m走、100m走、1500m走、ソフトボール投げに挑戦しました。大会当日は悪天候の雨の中でしたが、自己記録の更新を目指して全力を尽くす姿勢は、応援者たちを感動させました。結果としては金メダル3個と銅メダル1個を獲得し、メダルを逃した生徒たちも競技に参加できたことに喜びを感じていました。初めて大会に参加した生徒や、昨年度のリベンジを狙う生徒もあり、それぞれが目標を持って取り組み、一人一人が輝く素晴らしい大会となりました。

今後も、スポーツをととして生徒たちが生活の質（QOL）の向上を実現できるよう、支援と指導を続けていきたいと考えています。



知的障害教育部門小学部低学年の学校間交流

学校間交流担当 教諭 有田 美弥子

6月10日（火）と12日（木）の2日間、府中市立府中第四小学校の3年生と知的障害教育部門小学部の2年生・3年生とで学校間交流を行いました。府中第四小学校の皆さんが本校に来校するかたちでの交流でした。お互いに練習してきたダンスなどを発表し合ったり、パラバルーンの活動と一緒にいたりしました。第四小学校のダンスの発表では、自然に手拍子をとったり、同じように手足を動かしたり、声援を送ったりと、本校の児童も大変盛り上がっていました。最後に本校の児童と第四小学校の児童とでパラバルーンと一緒に持って上下や左右に動かす際は、お互い元気いっぱいの笑顔になって、楽しい気持ちを共有しながら、交流を深めることができました。見送りのときの、「またね！」と手を振り合う児童同士の姿が印象的でした。



肢体不自由教育部門小学部6年移動教室

肢体不自由教育部門6学年主任 主任教諭 高橋 さやか

6月18日（水）から19日（木）の1泊2日で、「高尾の森わくわくビレッジ」での移動教室を行いました。

「わくわくビレッジ」は、高い吹抜けの食堂やバリアフリーの浴場がとても開放的で、みんなの宿泊の気持ちをさらに高めてくれました。「お絵かきエコバッグ」の制作に取り組んだり、「レクリエーション」を楽しんだりしました。特に「夜レク」では、みんなで輪になって盆踊りで盛り上がったあと、ランタンで夜の暗さを感じ、電気のある生活の有難さを感じることができました。

宿泊行事は、初めての体験でしたが、自分の係活動に責任をもって取り組むことができたり、友達との交流を深めたりすることができ、貴重な体験となりました。



マイ・タイムラインセミナー

生活指導部 教諭 高橋 泰

6月12日（木）に、肢体不自由教育部門・知的障害教育部門の両高等部1年生を対象にマイ・タイムラインセミナーを行いました。マイ・タイムラインセミナーでは、地震や風水害による災害にあった時にどうすれば良いか、また、どうすれば被害に合わないかを学びました。

講義の前半では、講師の方をお招きして、資料を見ながら勉強をしました。防災ブックを用いたり、パワーポイントや資料を使ったりして、わかりやすく学ぶことができました。後半では、VRを使用して実際にどのような避難するのかを学びました。避難場所まで、少し危険だけど最短ルートで行くのか、安全だけど少し遠回りのルートで行くのか、生徒一人一人が考えながら学ぶことができました。



水泳学習事前研修・対応訓練

体育科 主任教諭 長田 望

児童・生徒が安心、安全にプールで学習活動ができるように以下の内容で研修を行いました。

【①児童・生徒に応じた浮具の使い方の基礎・基本】

初任者や初めて肢体不自由校を経験する教職員向けに、水泳事故の詳細やその対応方法を知る研修を行いました。内容としては、事故につながるヒューマンエラー（うっかり、思い込み等）を減らすために、水泳指導の中で危険となる事例を挙げました。事故を起こさないように、指導の中で生かすものの一つとして浮き具の説明をしました。しかし使い方によっては、児童・生徒に実態に合ったものでなかったり、事故につながってしまったりする可能性もあるため、その点も確認しました。

【②水泳実技研修】

実際にプールに入って、介助の方法や浮き具の使い方を学びました。実際に動きの中で学ぶことによって更に理解を深め、技術の向上や水の危険性などを学ぶ機会となりました。

【③緊急時対応訓練】

各学部で、水泳時における緊急時対応訓練を実施しました。事故が起きた時に迅速な連絡系統が機能するように、指示の手順や必要な物品の場所などの確認を行いました。

お問合せ

御連絡は、下記までお願いいたします。

◇平日（午前8時30分から午後6時まで） 042－367－2511（学校の代表番号）